

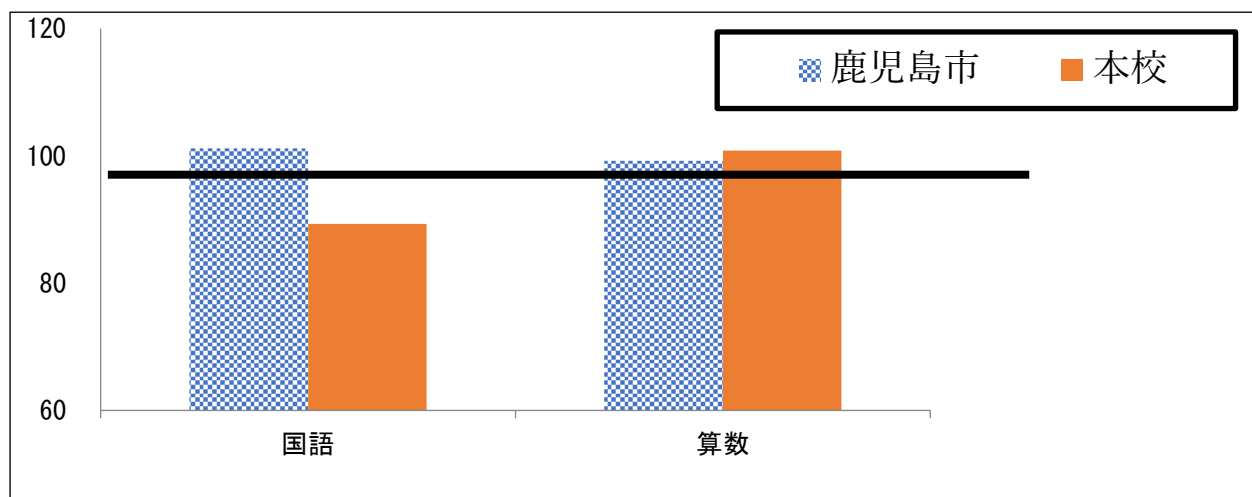
令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

令和5年 4月実施

受検者 6年生7名

1 東昌小・市・県・全国の平均正答率

〈全国平均正答率を100とする棒グラフ〉



2 今後の取組

国語では、「多くの文章から情報を読み取り、取捨選択して表現する問題」と「以外」と「意外」など同音異義語に関する問題に課題が見られました。

算数では、「言葉と数(式)を用いて、複数データ(情報)の違いを説明する問題」と「複数のグラフの関係を読み取る問題」課題が見られました。

このような課題を受けて、今後はステップアップ(朝の活動)で、課題のある問題に類似した問題や記述で答える問題に取り組ませていきます。

また、日常の授業においては、授業で子どもたちが説明する場面を多くもつようにしたり、問題を素早く読み解く力を身に付けさせたりしていきます。

児童質問紙の結果からは、東昌小の子どもたちは「自己肯定感」がかなり高いことが分かりました。今後とも学校や家庭で子どもたちの頑張る姿を認め、称賛していきたいと思えます。

今後も子どもたちの学力(「見える学力」「見えにくい学力」「見えない学力」)の向上に向けて努力していきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。